

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

資料 1 - 2 ①

1. 施設概要

施設名	三ツ池公園		
所在地	横浜市鶴見区三ツ池公園		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/mitsuike/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的（設置時期）	公共の福祉の増進（昭和32年4月）		
指定管理者名	神奈川県公園協会・石勝エクステリア・サカタのタネGSグループ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横浜川崎治水事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価（利用状況、利用者満足度、収支状況）に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、公園利用者数は目標達成率が82.1%となった。このため、利用状況はC評価となったが、利用者満足度は植物管理に関する評価や安全に関する評価が高いこともあって、昨年に引き続いてS評価となった。収支状況は、利用料金収入が減少したが、駐車場収入の増収によりA評価となった。</p> <p>令和5年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大も落ち着き、利用促進事業の積極的な取組みを実施されることが想定され、本来の魅力を引き出すような管理運営が望まれる。</p> <p>また、利用者からの管理についての意見も寄せられていることから、利用者の意見をよく聞きながら管理を行うことが望まれる。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆管理運営等の状況 提案に基づいて、桜樹再生会議を立ち上げ、景観の向上などの実績をあげた。 ◆利用状況 利用者数については、対前年度に比べ105.2%となったが、新型コロナウイルスの落ち着きとともに利用者が増加したものの目標値に達しなかったことから、C評価になった。 ◆利用者の満足度 6月と2月に利用満足度調査を行い、上位2段階の回答割合が90%を超えたため、S評価となった。 ◆収支状況 原油価格高騰に伴う電気代等の高騰による支出の増があったが、駐車場収入の増による収入の増があり、収支比率が100.6%となったため、A評価となった。 ◆苦情・要望等 駐車場待機車両への対策を求められたが、速やかに看板を設置し対応を図った。 ◆事故・不祥事等 作業中の作業員の事故があったが、速やかに再発防止対策を講じている。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 指摘事項はない。 ◆その他 なお、令和4年度の3項目評価については、B評価となった。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
B	C	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	隔月実施	指定管理者からの報告に基づき、管理状況の確認を行った。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	月例報告時に、報告書に基づき実施内容の確認及び改善点等について意見交換を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
「未来につなげる桜樹再生計画」及び「樹林地管理計画」策定し、桜と樹林地の保全・再生を目指す。	桜樹再生会議を立ち上げ、学識経験者や利用団体から意見を聴取し計画策定を行った。	計画通り実施された。引き続き、計画の実行に向け計画を進めて欲しい。
活動の拠点づくりとして、鶴見川流域レベルの広域的取り組みを行う。	京浜河川事務所と連携し、流域レベルの交流の関係づくりを進める。	引き続き広域的連携を進めて欲しい。
交流の場づくりとして、公園の自然を生かした体験プログラムを実施する。	コリアマダンの開催協力や、ふれあい祭りの実施協力を行った。	交流の場として公園が活用されるよう、更なるプログラムの充実が望まれる。
利用者や地域住民の声を反映した公園づくりの推進	利用者満足度調査の結果や常設アンケートの結果を踏まえ、可能な限り業務に反映した。	引き続き、公園利用者からの意見を聞きながら運営することが望まれる。
環境に配慮した管理運営を行う。	発生材の活用や、希少植物の調査などを行った。	希少植物などの調査結果を、管理業務に反映させることが望まれる。
周辺類似施設との料金バランスや利用者層を踏まえたうえで、有料施設の利用料金を設定する。	プールにおいて中学生料金の導入を提案していたが、利用実態を踏まえ導入を取りやめた。	有料施設の利用拡大につながる代替策の検討を進めている。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
○売店及びキッチンカー	軽食や菓子類の販売を通年（土日）実施
○コインシャワーの運営	コインシャワーを通年実施
○パークセンター内売店	菓子類等の販売を通年実施

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	1,132,672	1,136,032	1,194,976
対前年度比		100.3%	105.2%
目標値	1,447,000	1,447,000	1,456,000
目標達成率	78.3%	78.5%	82.1%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車場利用台数（普通、大型、二輪）に一定の率を乗じ、天候（晴、曇、雨）により補正

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】 （※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

- ①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年間を通じて施設利用が少なく、特に夏季のプール利用者が減少しており、売店等収入に影響があった。
- ②令和4年度の対応状況
 イベント等利用促進策を積極的に実施したものの、利用者数が伸びなかった。

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	年2回実施した、詳細アンケートの結果を使用する。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 _____ 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 _____ 利用者に直接配布 回収数/配布数 154 / 164 = 93.9%

配布(サンプル)対象 _____ 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	85	58	6	5	0	154	花を見て楽しい。
回答率	55.2%	37.7%	3.9%	3.2%	0.0%		
前年度の回答数	74	45	0	5	0	124	
前年度回答率	59.7%	36.3%	0.0%	4.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	92.5%	103.8%		80.5%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	76,415	13,220	47,181	駐車場： 41,699 自販機： 5,482	136,816	136,816	0	
	決算	76,415	6,188	46,361	駐車場： 39,972 自販機： 6,389	128,964	134,605	-5,641	95.81%
前年度	当初予算	76,158	13,220	47,181	駐車場： 41,699 自販機： 5,482	136,559	136,559	0	
	決算	76,158	6,770	46,084	駐車場： 40,050 自販機： 6,034	129,012	130,768	-1,756	98.66%
令和4年度	当初予算	78,737	11,894	46,251	駐車場： 40,143 自販機： 6,108	136,882	136,882	0	
	決算	78,737	11,262	48,815	駐車場： 41,686 自販機： 7,129	138,814	138,056	758	100.55%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	手紙	1 件	駐車場待ちを防ぐため、駐車場開場時間を変更してほしい。	路上での入庫待ち禁止の看板を設置した。
		件		
職員対応	電話	1 件	職員の言葉遣い・態度が悪い。	意見の相違によるものと思われるが、丁寧な接客について改めて徹底した。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R5. 9. 11	①園路にてジョギング中に転倒した。 ②9月12日 メール及び電話。 ③園路の巡視を強化した。 ④無 ⑤本人の不注意。 ⑥無
R5. 11. 7	①公園作業員が、アジサイ剪定中に指を剪定ばさみで切った。 ②11月7日 メール及び電話。 ③朝礼で職員に注意喚起した。 ④無 ⑤時間に追われ慌てて作業を行ったため。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。